

海外留学室活動報告

堀 江 未 来 ・ 柴 垣 史

今年度の活動の特徴は、①昨年度1.5倍にした交換留学生の規模（募集数、合格者数とも）を継続できたこと、②交換留学生を取り巻くネットワークをより強化できたこと、③ TOEFL 試験方式の変更に伴い、英語力強化のための新たな取組を行ったこと、の3点に集約される。また、海外留学情報をよりわかりやすく積極的に発信していくため、交換留学経験のある学生アルバイトを短期間雇用し、利用者の視点からの情報整理とその提示方法を工夫してもらったり、留学準備中の学生に対して経験者としてのアドバイスをしてもらうこともできた。海外留学室は一人の教員と1人のスタッフ（週1日）の体制で運営しており、人手が十分とは言えない。しかし、今後このような学生の関与をインターンシップのような形で展開すれば、いろいろな面で海外留学室の活動を充実させられると感じた。

以下、今年度の活動内容を、情報提供、個人相談、派遣留学生に対する支援、授業等を通しての取り組み、海外留学に関する情報収集及び研究活動、学生アシスタントを迎えて、の6つのテーマに分けて紹介し、最後に来年度に向けての課題を提示する。

1. 情報提供

海外留学室における情報提供活動は、テーマ別のセミナーや説明会、ホームページ、図書資料の閲覧の3つを通して行っている。今年度は新たに、「海外留学室」の活動を紹介するチラシを作成し、新入生全員に配布した。

〈セミナー・説明会〉

今年度は、各種説明会を全9回、毎週水曜日の昼休みに行われる入門セミナー全30回開催した。今年度は新たに、DAAD（ドイツ学術交流会）の協力を得、留学生センターラウンジのブースによるフェアを終日開催し、その一部として説明会を開催することができた。その日は南山大学ドイツ語学科からも多数の参加

があった。

以下は、今年度に行われた説明会及びセミナーの一覧である。対象を特に明記していないものは名大の学生・教職員一般を対象としたものであり、学外者の参加も許可している。

◆新入生学生生活ガイダンス

日 時：4月7日

対 象：新入生全員

内 容：名古屋大学における留学と国際交流機会について

*全体のガイダンスのうち約10分間

◆海外留学説明会（工学部・工学研究科学生対象）

日 時：4月12日 16：30－17：30

場 所：IB 電子情報館012教室

参加者：約30名

内 容：名古屋大学における留学機会の説明、留学準備について

◆海外留学説明会（全学対象）

日 時：4月19日 16：30－17：30

場 所：CALE フォーラム

参加者：約50名

内 容：名古屋大学における留学機会の説明、留学準備について

◆TOEFL 説明会

日 時：5月8日 16：30－17：30

場 所：CALE フォーラム

講 師：CIEE 星川氏

参加者：50名

◆ドイツ留学フェアと説明会

日 時：6月9日 終日

場 所：留学生センターラウンジ、CALE フォーラム

講 師：DAAD 担当者

参加者：35名

◆フランス留学説明会

日 時：7月6日 16：30－18：00

場 所：留学生センター201教室

講 師：エデュフランス フランク・ミシュラン氏

参加者：15名

◆交換留学（全学間協定）応募説明会

日 時：8月7日 16：30－17：00

場 所：CALE フォーラム

対 象：全学の学生，交換留学応募希望者

参加者：50名

内 容：交換留学（全学間協定）への応募について

◆ルノー財団奨学生プログラム応募説明会

日 時：8月7日 17：30－18：00

場 所：CALE フォーラム

対 象：全学の学生，応募希望者

参加者：5名

内 容：ルノー財団プログラムへの応募に関する説明

◆語学留学・国際ボランティア説明会

日 時：11月22日 16：30－18：00

場 所：CALE フォーラム

講 師：CIEE 星川氏

内 容：語学留学の準備／申請方法，プログラム選定に関する注意事項，CIEE 主催国際ボランティアプログラムの紹介など

◆海外留学入門セミナー（全30回）

日 時：学期中の毎週水曜日 12：15－12：45

場 所：留学生センター201室

対 象：全学の学生，教職員

参加者：72名（別表1及び2の通り）

内 容：留学機会の紹介，情報収集，準備教育指導

〈ホームページ〉

前年度，全面改訂行い，引き続き内容を週1回以上の頻度で更新している。また，このホームページをより多くの学生に閲覧してもらうため，海外留学室を紹介するチラシを作成し，新入生全員と，説明会参加者に配布し続けている（資料1）。細かい紹介は裏面とし，

表にはとにかく留学に興味を持ったらホームページを見て，具体的な行動をとることを促している。

〈留学関連資料整備〉

これまで留学生センターラウンジと，海外留学室に分散していた閲覧資料をすべて海外留学室に整備することとし，本棚等を購入して海外留学室の図書の整理と同時に図書の買い足しを行った。特に，TOEFLの試験方式がCBTからiBTに変更されることにともない，TOEFL学習用の図書を充実させるよう努めた。また，比較的情報が手に入りにくい非英語圏への留学についても，引き続き図書の充実に努めている。

2. 個人相談

今年度も引き続き，学期中は週8時間の相談時間を設け，予約なしでの個人相談に応じた。相談時間以外に予約をして面談に訪れるケースも少なくなかった。

記録の取れた範囲でわかる相談件数は表3のとおり，面談によるものが259件，メールによるものが365件となっている。面談によるものは昨年より少し減少しているものの，メールによるものが50件程度増化している。合計では，昨年の588件から今年度の624件へと増加している。学生一人当たりの相談回数は，多くは複数回に及び，10回以上にわたるケースもある。

相談内容に特に大きな変化は見られない。大別すれば，交換留学への出願準備について（とりわけ英語力要件を満たすための勉強方法について），一般の語学研修等への参加やプログラム選びについて，海外の大学院に進学するための準備やプログラム選びについて，実際の留学手続きについて，となる。その他，留学経費を確保するのが難しいがどうしたらいいか，家族や指導教員からの留学を反対されているがどうしたらいいか，といった相談も寄せられている。

相談件数については，これ以上の数を現在の体制で十分に対応することは難しいため，説明会など同時に複数の学生に対して情報提供や質疑応答が出来る機会を充実させ，効率よく留学促進を行っていくことが必要であると思われる。

3. 派遣留学生に対する支援

今年度，名古屋大学が紹介する様々なプログラムで

留学する学生に対し、それぞれ以下のような教育支援活動を行った。

〈全学間交流協定に基づく交換留学〉

今年度派遣分

全学間交流協定に基づく交換留学によって今年度派遣予定の学生に対し、出願から出発までの支援と指導を行った。派遣学生の一覧は表4（左側半分）の通りである。これら全32名の学生は昨年度行われた学内選考の結果選ばれたものであるが、受け入れ校からの許可書を取得してはじめて派遣学生として認定される。今年度もすべての学生が無事に入学許可書を取得し、渡航することができた。なお、ウォリック大学（一般交換枠）、アデレード大学、フリンダース大学、ブラウンシュバイク工科大学、プネー大学（授業料徴収）へは、交換留学としてははじめての派遣となった。

また、JASSOによる短期留学推進制度奨学金を受給した学生が8名おり、その手続きや学生への連絡については国際課の短期留学掛と連携して対応した。

今年度渡航を開始する交換留学生に対しては、以下の通りの説明会・オリエンテーションを行った。

◆アメリカ留学ビザ取得説明会

日 時：6月6日（火）16：30－18：00

場 所：留学生センター201教室

◆交換留学生出発前オリエンテーション

日 時：6月28日（水）16：30－18：00

場 所：CALE フォーラム

◆フランス留学出発前オリエンテーション

日 時：7月6日（木）15：30－16：30

場 所：留学生センター202教室

*エデュフランス フランク・ミシュラン氏による

来年度派遣分

来年度派遣分の交換留学生（全学間協定に基づくもの）については、8月7日の説明会をもって応募開始とした。同時に、ホームページでの告知も開始した。今回募集した交換留学受け入れ協定校は資料2の通りである。

10月16日を学内応募締め切りとしたところ、全学から76件（44名）の応募があった。その後、11月14日と

15日に交換留学実施委員会委員で構成される担当者により、個別面接を行い、その結果、34名の交換留学候補者を選出した。また、審査順位に従い、JASSOの短期留学推進制度奨学金へ推薦順位案を作成した。

さらに枠が空いている協定校のうち16校について、2次募集を行った（資料3）。学内から2名の応募があり、審査の結果両名とも候補生として選出された。一方で、3名の辞退者がでたため、実際に渡航する交換留学生の合計は33名となった。

交換留学生候補者全33名の所属部局、学年（応募時）、及び性別は、表4（右側半分）の通りである。候補者の所属部局を多い順から見ると、文学部7名（うち院生4名）、法学部6名、工学部5名（うち院生1名）、経済学部4名、教育学部2名、情報文化学部2名、農学部2名、理学部1名、国際開発研究科2名、国際言語文化研究科2名となっている。男女比は、男子12名対女子21名となっており、名古屋大学学生全体の男女比と比べてはるかに女子学生の比率が高い。応募時の学年については、多い順に2年生10名、3年生8名、1年生4名、博士前期課程1年4名、4年生2名、博士後期課程1年2名、3年2名、博士前期課程2年1名、となっている。

また、候補者決定通知の直後、上記学生に対し下記オリエンテーションを行った。留学準備期間の過ごし方は、留学中及び帰国後の成果に大きく影響する。このオリエンテーションは、早い段階から留学生としての自覚を促し、自立心をもって準備に取り組ませることを目的としている。また、同期交換留学生のネットワークを早期に構築することで、情報交換を促進させることも目指した。

◆交換留学生準備オリエンテーション

日 時：1月31日（水）16：30－18：00

場 所：CALE フォーラム

〈名古屋大学長期留学支援プログラム〉

昨年度採択された、「名古屋大学長期留学支援プログラム」に基づき、1名の学生をスタンフォード大学修士プログラム（工学研究科）に派遣した。

また、同プログラムにより、来年度の派遣学生として3名の学生を文部科学省に推薦し、下記の2名が採択された。2名ともすでに渡航中の学生であるため、名古屋大学における準備指導等は行わないが、メール

を通じての個人相談や情報提供を中心に、準備教育を提供する予定である。

カナダ・トロント大学 工学 博士コース（女子）
ベルギー・リエージュ大学 社会学 博士コース（男子）

〈ルノー財団プログラム〉

このプログラムは、フランス・ルノー財団による奨学金及び予備教育が提供されるものであり、修士レベルがターゲットとなっている。今回は、MBA Dauphine-Sorbonne-Renault（経営学修士）、Master ParisTech Fondation Renault（理工系修士）、及びCycle Majors Renaultの3コースについて来年度出発分の募集があった（プログラム詳細はルノー財団ホームページを参照 <http://www.fondation.renault.com>）。

名古屋大学からは卒業生が2名 MBA プログラムに応募し、両名とも合格した。

MBA Dauphine-Sorbonne-Renault

法学部卒業生（女子）

法学部卒業生（男子）

〈日仏共同博士課程〉

本プログラムは、日本側及びフランス側コンソーシアム参加校の間での学生交換を促すものであり、原則として博士後期課程3年間のうちの2年目をそれぞれ日本またはフランスで過ごし、日仏指導教員の共同指導のもと、博士学位取得を目指すものである。

昨年度学内選考を行い、推薦がきまった学生1名については、日本コンソーシアム総会において派遣が承認され、今年度出発した。学生の行き先、所属等は以下の通りである。また、この大学は名古屋大学と全学協定を締結している。

リヨン第3大学 国際言語文化研究科 D 1

〈ノースカロライナ州立大学夏期英語研修〉

7月の頭から5週間にわたって行われる夏期英語研修であり、5名分の授業料（または10名分の授業料半額）が同大学 Japan Center によって提供される。今年度は13名の申込みがあり、4月19日に学内面接を行った結果、うち10名に対し授業料を半額免除することとして先方に報告し、了承された。残り3名のうち1名は全額自己負担での参加を希望した。

これら11名を対象に、今後の手続き及び米国留学ビザの取得方法について説明会を行った（6月6日）。

この機会を利用して、参加者間の顔合わせを行い、出発までの準備を支援しあい、個人で準備することになっている航空券の予約・購入などについての情報交換を行うよう促した。

ノースカロライナ州立大学夏期研修に参加した学生の所属部局・性別は以下の通りである。

教育学研究科（女子）

法学研究科（男子）2名、（女子）2名

経済学研究科（女子）

工学研究科（男子）

工学部（男子）

理学部（男子）

生命農学研究科（女子）

情報科学研究科（男子）

〈木浦大校夏期研修〉

8月1日から12日にかけて韓国の木浦大学校で行われる韓国語学文化研修である。名大からの学生については、3名を上限として授業料及び宿泊費が免除される。学内からは1名の応募があり、木浦大学校から受け入れが許可された。

国際開発研究科 M 1（女子）

〈高麗大学校 International Summer Campus〉【新規】

今年度より、高麗大学校 International Summer Campus への学生派遣が始まった。これは6月下旬から始まる5週間のプログラムであり、韓国語研修の一方、多様な科目が英語で開講される。名大からの参加は、1名あたり交換留学生1/3人分としてカウントされ、授業料が免除される。

学内募集の結果、2名の申込があり、面接の結果2名を推薦し、入学許可を得た。

文学部4年（女子）

国際開発研究科 M 1（男子）

4. 授業等を通しての取り組み

海外留学を促進する上で、学生本人の目的意識や自主的な行動力を起こさせるサポートを行う一方、英語力の強化に対する取組が必要であることがわかってきた。一般的な英語教育は本来留学生センターの業務ではないが、授業の形で英語力の強化と異文化適応能力の開発や留学への意識向上を行うことは、意義がある

と考えられる。

今年度は、特に TOEFL の試験方式が CBT から iBT に変更され、スピーキング等を含む、より実践的な英語力が試されるようになった。これまでの試験対策を行ってきた学生にとっては、iBT テストに必要な点数をとることは容易ではないと考えられた。そこで、海外留学室では、来年度の授業化をめざす新たな取組として、TOEFL-iBT スピーキングセミナーを全7回開講した。

これと連動して、名古屋大学生協との共催により、TOEFL-ITP（公式模擬試験）を3回（5/20、7/22、12/16）実施し、毎回20名前後の受験者があった。TOEFL-iBT 等本試験を受ける前の TOEFL 学習の一環として今後も続ける予定である。

このスピーキングセミナーには、全学から15名の学生が参加し、全7回積極的に取り組んだ。TOEFL のスピーキングに特化した内容で、ETS から出版された教材を用いて授業を行った。来年度は、このセミナーを共通教育言語文化科目として授業化したいと考えている。

この他、自主運営の勉強グループとして、TOEFL 学習に興味のある学生を募り、参加者への連絡調整、参考図書の貸出し、学習スペースの提供を海外留学室で行いサポートした。

また、堀江が2005年度から NUPACE 生向けに英語で開講している“Communication and Human Relations in Cross-Cultural Contexts”には、今年度も日本人学生の参加があった。全体で約40名の学生のうち、半数近くが外国人留学生を含む一般学部学生である。多文化環境におけるコミュニケーション力と協力関係づくりのためのリーダーシップ力開発を目的としており、体験学習型の授業構成となっている。受講した日本人学生の中には、英語力の面で授業中の議論に入ることが困難な学生も多いが、授業後半になると何らかの形で自分が議論に貢献することに意識的になり、英語で何かをするということに対する抵抗感が減少しているようである。

この授業には、留学希望者だけでなく、留学から帰国した学生も参加しており、外国人留学生とともにお互いの経験の共有から様々なことを学んでいるようである。また、留学は考えていなかったけれどもなんとなく授業をとった学生にとっては、留学を身近に考える機会となっているようだ。

5. 海外留学に関する研究及び情報収集活動

今年度の8月より、科研費による研究課題「高等教育における外国成績・資格評価システムの国際比較研究」（基盤研究（B））の代表者を堀江が引き継いだ。外国の高等教育機関における成績評価や学位認定を、異なるシステムにおいてどのように正当に評価するのかというテーマについて、アメリカとヨーロッパにおいてすでに展開されている成績・資格評価システムの比較研究という形で取り組んだ。このテーマは海外留学を促進するだけでなく、ダブルディグリーなどの共同プログラムの開発においても不可欠である。また、偽造書類やディプロマ・ミルなどの現状とその対応方法についても検討した。

また、海外留学に関する情報収集活動としては、以下のとおりである。今年度は、研究活動の一環として NAFSA や EAIE に出席したが、その際、名古屋大学の協定校関係者とあう機会を設け、交換留学に関する協議を行うことができた。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 5/21-28 | NAFSA 総会（カナダ・モントリオール） |
| 5/31 | モナシュ大学語学研修担当者来訪 |
| 6/2 | フリンダース大学担当者来訪 |
| 7/11 | オーストラリア国立大学担当者来訪 |
| 9/10-20 | EAIE 総会（スイス・バーゼル） |
| * ミネソタ大学、香港大学、コペンハーゲン大学関係者と協議 | |
| * フライブルグ大学、ストラスブール大学訪問 | |
| 10/20 | アメリカ留学担当者のための説明会（アメリカンセンター） |
| 11/14-15 | ミネソタ大学 Dr. Kay Thomas 来訪 |
| 11/28 | Mawson Lakes 奨学金担当者来訪 |
| 11/29 | トロント大学担当者来訪 |
| 11/30 | SAF 担当者来訪 |
| 12/7 | オーストラリア国立大学担当者来訪 |
| 2/1-5 | 大学の世界ランキングに関するシンポジウム（オランダ・ライデン大学） |
| 3/7-14 | APAIE 総会（シンガポール・シンガポール国立大学） |
| 3/29 | ルノー財団会議（東京） |

6. 学生アシスタントを迎えて

学生アシスタント・スタッフとして、文学部4年次在籍の佐藤昭宏氏に、1月中旬から2月末まで、おもに以下の海外留学室業務をサポートしていただいた。

- * 海外留学室閲覧図書・資料等の整備
- * ホームページ作成
- * 海外留学予定者の準備補助
- * 広報資料、各種書類作成補助・整理
- * 海外留学希望者、語学学習者、留学経験者のための支援プログラム立案および実施

佐藤氏の業務は単なる作業にとどまらず、新鮮な感覚や自身の交換留学経験で培われた知識をもって、「学生の視点から求める海外留学室の役割」についての提案、学生支援のためのプログラム立案、その試験的な実施にわたり、それらは海外留学室の今後の展開に多に資するものであった。付録1は、佐藤氏の行なった学生主体の支援プログラムについてのまとめである。

佐藤氏が記録したプログラム参加者の連絡先、各人の語学学習や留学に関する興味についてのデータは海外留学室で保管し、今後の学生支援プログラムの企画、案内に役立てたいと思う。また、佐藤氏自身がプログラムのファシリテータとして学んだことについての記録は、今後、同様の学生支援プログラムのファシリテータとなりうる学生への参考資料としたい。

海外留学室アシスタントとしての佐藤氏の起用は、「留学から帰国した学生の支援」という視点から、留学経験者の留学後の可能性を効果的に発揮する機会の提供として一つのモデルとなろう。海外留学室として、「これから留学する学生」への支援は当然であるが、「留学からもどってきた学生」のフォローも十分に行なっていきたい。

佐藤氏の留学生センター、名大生への多方面からのサポートに感謝するとともに今後の活躍を期待し応援したい。

おわりに：今年度の総括と来年度への課題

今年度への課題として昨年末に指摘した2点のうち、TOEFL指導の強化については、「TOEFLスピーキングセミナー」の開催と学生アシスタントによる「英語学習アドバイス&ディスカッション」という形で達成できた。これらについては来年度以降も継続的に発展させる予定である。もう1点の課題であった交換留学を終えた学生の進路に関する情報収集については着手できていない。総長裁量経費等によって調査のための財源を得ようとしたが、今年度経費を得ることはできなかった。したがって、この課題は来年に継続することとなる。

来年度への課題は以下の3点である。

第1点目は、交換留学生の進路調査や留学中の就職活動についての情報を含め、情報提供を充実させたい。現地で受講した授業リストなど、より具体的に多様な留学像が見えるような情報提供のしくみを、ホームページを中心に作成していく予定である。

第2点目は、今年度は任意のセミナーとして行ったTOEFL対策講座であるが、来年度は言語文化科目の授業として開講する予定である。すでに授業申請を行い、開講できる運びとなっている。

第3点目は、学生アシスタントの活用、特にインターンシップ化の可能性について検討したい。昨年度と今年度に短期間で学生アシスタントを雇用し、非常に有効であることがわかった。特に、留学経験者としての視点、また本学の学生としての視点から、様々な提案をしてもらったことは貴重である。海外留学室での様々な支援業務は、学生にとって学ぶことの多い就業経験となりうると考えられる上に、彼らの支援によって海外留学室のサービスをよりきめ細かくすることができる。来年度以降可能なシステムを検討したい。

来年度は、海外留学室が設立された1998年から10年目にあたる年である。来年度は長期的な展望も視野に入れつつ、次の10年間の活動について何らかの方向性を出せるよう意識して業務に取り組みたい。

〈付録1〉

英語学習アドバイス&ディスカッションを終えて
—まとめと今後の課題—

佐藤 昭 宏

近年、留学生センターでは多様な英語学習、交換留学に向けた学生支援プログラムが活発に実施されている。その結果、本学生の留学生センター利用度は年々高まり、大学間協定を利用して留学する学生や、国際交流イベントに参加する学生が徐々に増加してきている。しかしながら、本学生全体の割合から見れば、学生の認知度・利用頻度という点においてまだまだ改善の余地があり、さらなる国際交流・国際教育環境の充実が目指されている。

そこで今回、1つの改善の糸口として、2007年2月に学生主体の「英語学習アドバイス&ディスカッション」（以降、セミナー）を試験的に実施した¹。今回のセミナーでは「留学生センターにおける国際交流、留学準備プログラムの〈学生〉視点からの広報」、「学生間における留学情報、英語学習支援ネットワークの構築」を目的とし、活動に取り組んだ。そして特に「意欲・関心はあるが、その環境を十分に活用しきれていない」、もしくは「利用の仕方を知らない学生」に焦点を当て、セミナーを行った。

具体的な内容としては、毎回最初の45分間を質疑応答・自己紹介・他己紹介の時間とし、後半の1時間15分をディスカッションの時間とした。特に最初の質疑応答の時間では、同じ〈学生〉として留学準備に対する不安、英語学習の行き詰まり、就職活動の心配など、類似した関心をもつ〈学生〉の視点から、参加者の興味・関心に沿う形で活動内容やプログラム情報を提供しよう心掛けた。なぜなら、当時の自身の心境や留学体験などを交えながら情報提供することで、より明確に活動内容や将来のビジョンを学生に理解してもらうことが可能だと考えたからである。事実、セミナーの中では「学生－学生」という関係性だからこそ〈生まれやすい〉、柔軟な質疑応答（ファシリテーターに限らず、そこにいる参加者全員がそれぞれもっている知識や経験、また疑問を交換し合うというスタイル）を何度も確認することができた。そしてその時間が

Ice Breaking にもなり、後のディスカッションの時間にもよい影響をもたらした。このように参加者同士がリラックスしながら、自由に情報や意見交換を行う場を拡大していくことでさらに効率のよい広報活動を展開していくことができるのではないかと。しかしその実現には、今後も学生側から中心になって働きかけ、大学職員の方々と協働しながら、セミナーを facilitate していく人物が必要になるだろう。

そして、こうした学生の働きかけは、今後、大学内の国際交流・国際教育環境の充実を考えたときにも不可欠である。留学生センターによる積極的なハード面の環境整備（学習環境と機会の提供）だけではいずれ限界があり、同時にその環境を利用するソフト面の環境、特に学生側の利用環境を改善していく必要がある。具体的には、交換留学や留学生センターのプログラムを体験した学生が、留学生センターを介さずに次の世代の学生と自由に意見交換し、その経験や知見を引き継いでいけるような「学生間ネットワーク」、「自主セミナー」を築いていくことで（中には留学生センターを通して公的に伝えるべき情報や経験もある）、学生側の利用環境を整備していけるのではないかと。もちろんそうした場を学生が中心的に進めていく際、「いかに議論を促進させるか」という点で、不十分な要素は多数存在するであろう。しかしながら「違う角度から自身の留学体験や英語学習のノウハウを〈出し入れ〉する」機会を与えることによって、学内における留学生センターの認知拡大だけではなく、留学生センターのプログラムを何度も体験している、経験豊富な学生や帰国学生にさらなる成長の機会を与えることができる。こうした学生内の「よい循環」を築いていくことも、大学教育を充実させていく上で、非常に重要になっていくだろう。

学生側が積極的に働きかけ、留学生センターと学生が相互に学びあいながら、かつ支援し合っていく——そうした関係性を「大学－学生」間で構築できれば、その効果・能率はさらに向上していくのではないかと。

¹ セミナーは2月15日、19日、20日に行ない、各々2時間ずつ実施した。

今後の学生の積極的な関わりに期待する。

残念ながら今回はたった3回のセミナーであったため、学生間のネットワークを構築するまでには至らなかった。しかしながら、活動を活発化させていく上での最初の一步として「同じような興味関心を持つ参加者が繋がり合う」こと、また英語学習を通して「それぞれがそれぞれの成長を補い合える」ということを学

生間で共有できただけでも、若干ではあるが一定の〈手応え〉を得ることができたように思う。特にセミナー終了後、活動に興味を持ち、今後も意欲的に継続していきたいと質問をしてきてくれた学生がいたことは非常に頼もしかった。彼らが来年の中心的な役割を果たし、さらに学内における国際交流・交際教育分野を〈学生〉から活発化させていってくれることを期待しつつ、以上を今回のセミナー報告としたい。

表 1：平成18年度 海外留学入門セミナー月別出席者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
参加者数	10	13	15	4	休止		15	8	4	3	0	休止	72

表 2：同 所属別参加者数

	1 年		2 年		3 年		4 年		M1		M2		D1		D2		D3		その他		小計		総計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
文学部	1	4	2				1														4	4	8
文学研究科													1		1						2		2
教育学部		4				1															5		5
法学部	2	6				2															2	8	10
法学研究科																							
経済学部	5	10	2		1																8	10	18
経済学研究科									1												1		1
情報文化学部					1																1		1
理学部		1																			1		1
医学部																							
医学部保健学科						1															1		1
工学部	5			2	1	1	2														8	3	11
工学研究科									1												1		1
農学部	1	3	1	1	1																3	4	7
生命農学研究科																							
国際開発研究科											1										1		1
情報科学研究科																							
国際言語文化部									1		1										2		2
環境学研究科									1			1									1	1	2
その他																			1		1		1
小 計	14	28	5	3	4	5	3		3	1	2	1		1		1			1		31	41	72
合 計	42		8		9		3		4		3		1		1				1				72

表 3：平成17年度 海外留学個人相談月別利用件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
面談件数	51	15	27	12	15	19	30	9	24	23	21	13	259
メール相談件数	27	19	14	16	75	58	50	22	25	21	19	19	365
合計相談件数													624

表4：全学間交流協定に基づく交換留学生

	平成18年度派遣学生			平成19年度派遣候補生		
全体数	32名			33名		
アメリカ	12名			10名		
ニューヨーク大学	経済学部	2年	男子	文学研究科	M2	男子
				法学部	1年	女子
ノースカロライナ州立大学	工学部	4年	男子	理学部	4年	男子
	工学部	2年	男子	法学部	1年	女子
	農学部	2年	女子	工学研究科	M1	男子
	情報文化学部	1年	女子			
イリノイ大学	工学部	4年	男子	経済学部	3年	男子
	工学部	1年	男子			
南イリノイ大学	文学部	2年	女子	国際言語文化研究科	M1	女子
	情報文化学部	2年	男子			
シンシナティ大学	文学部	3年	男子	工学部	2年	男子
				文学研究科	D3	女子
セント・オラフ大学	文学部	3年	女子	工学部	4年	男子
	経済学部	3年	女子			
韓国	3名			4名		
漢陽大学	工学部	2年	男子	工学部	3年	男子
				経済学部	2年	男子
梨花女子大学	教育学部	2年	女子			
高麗大学	教育発達科学研究科	D	男子	教育学部	2年	女子
				情報文化学部	2年	女子
イギリス	4名			3名		
ブリストル大学	理学部	3年	女子	農学部	2年	女子
ウォリック大学	文学研究科	D1	女子			
	情報文化学部	2年	女子	法学部	3年	女子
シェフィールド大学	文学部	2年	女子	文学部	2年	女子
フランス	4名			4名		
ストラスブールコンソーシアム	農学部	2年	男子	法学部	2年	女子
	法学部	3年	女子			
グルノーブルコンソーシアム	文学部	2年	女子	文学部	2年	女子
	工学部	2年	男子			
リヨン第3大学				国際言語文化研究科*	D1	女子
				経済学部	3年	女子
中国	3名			3名		
復旦大学	経済学部	3年	男子	法学部	2年	男子
	教育学部	3年	女子	法学部	3年	女子
上海交通大学	経済学部	2年	男子	経済学部	1年	女子
ドイツ	2名			3名		
フライブルグ大学	工学部	2年	女子	国際開発研究科	M1	女子
				文学研究科	D3	女子
ミュンヘン工科大学				文学研究科	D1	女子
ブラウンシュバイク工科大学	環境学研究科	M1	男子			
オーストラリア	2名			2名		
アデレード大学	法学部	3年	女子			
フリンダース大学	文学部	2年	女子			
シドニー大学				情報文化学部	3年	女子
モナシュ大学				工学部	3年	女子
デンマーク				2名		
コペンハーゲン大学				文学部	2年	男子
				教育学部	3年	女子
カナダ				1名		
ヨーク大学				農学部**	1年	男子
タイ				1名		
チュロンコン大学				国際開発研究科	M1	男子
ブラジル	1名			0名		
ブラジリア連邦大学	法学部	3年	女子			
インド	1名			0名		
ブネー大学	国際開発研究科	M1	女子			

* 日仏共同博士課程

** 日加学生交流コンソーシアム

地球がキャンパス

「留学」を考え始めたら、ホームページから情報収集をはじめよう

<http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/abroad>

名大生のための海外留学情報提供・相談窓口

海外留学室

名古屋大学留学生センター 1 階

〒464-8601

TEL:052-789-2196

FAX:052-789-5100

E-mail address: abroad@ecis.nagoya-u.ac.jp



海外留学室は、名大生の留学をサポートします。

海外留学情報の提供

名古屋大学で募集される海外留学プログラム、その他で募集される各種海外プログラム、奨学金情報、留学説明会等の最新情報を海外留学室のホームページで提供しています。また海外留学室では名大と協定を締結している大学や、他の海外大学の資料を閲覧することが可能です。

留学参考図書、資料の閲覧

留学の準備に関連した一般図書や、TOEFL、GMAT、DELTA/DALF 等、能力試験対策用の参考書、名大の海外留学体験者の帰国報告書などをまとめたアドバイス資料を海外留学室で閲覧できます。参考図書の一部は貸し出しも可能です。

セミナー・説明会・オリエンテーション

留学の計画や準備に合わせて様々なセミナー、説明会を開催しています。留学を考えた人への準備、計画のために「海外留学入門セミナー」を、また留学の種類、行き先、募集プログラムに応じた説明会を学内で企画、開催しています。留学が決まった人には、留学経験からより多くのことを学べるよう準備教育プログラムとして留学前オリエンテーションを実施しています。また、学外で開催される各国留学説明会の情報も提供しています。

個別相談

派遣留学担当職員が、海外留学希望者の様々な質問、悩み、問題に個別相談で対応しています。また、電子メールによる海外留学に関する個別の質問も受けています。

留学先大学への出願手続きのサポート

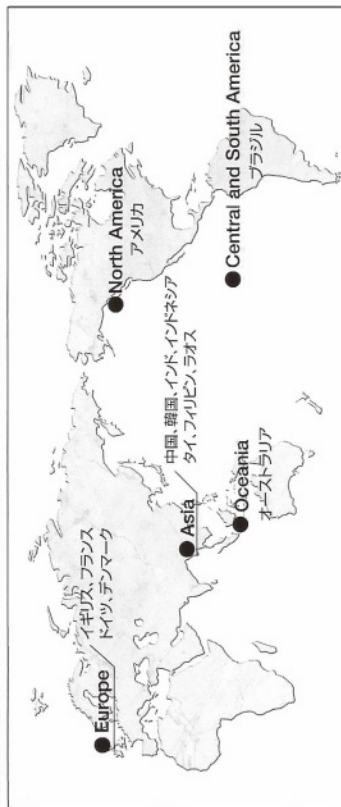
大学間協定校への派遣留学や、その他の留学プログラムへの出願、ビザ取得、渡航に至るプロセスをサポートしています。

【参考】

名大で応募可能な主な留学プログラム

名大協定校への交換留学、長期留学支援プログラム（海外大学院正規課程）、NCSU 夏期英語学研修（米国）、韓国短期留学・文化研修、フランス・ルノー校団（MBA、理工系修士等）プログラムなど。（プログラムの詳細は海外留学室のホームページを参照してください。）

名古屋大学の主な大学間協定締結校国：2006年3月現在（部局協定校を除く）



資料2：平成18年度 大学間交流協定に基づく交換留学生募集 協定校一覧 (募集時より一部情報省略)

No	大学名	国名	応募条件	履修形態	大学／プログラム情報等	授業料	備考
0	ブネー大学	インド	英語能力を有する者	英語研修および一般授業履修	http://intcent.unipune.ernet.in/site/index.htm	授業料有料	
1	カセサート大学	タイ	英語またはタイ語		http://www.ku.ac.th/	免除	
2	チュラロンコン大学	タイ	英語による授業を履修する場合は TOEFL213以上。タイ語授業を履修する場合はタイ語能力。		http://w3.chula.ac.th/inter/menu.htm	免除	
3	ガジヤマダ大学	インドネシア	インドネシア語および英語		http://www.ugm.ac.id/	免除	
4	スラバヤ国立大学	インドネシア	インドネシア語および英語	一般授業履修等	http://www.unesa.ac.id/	免除	
5	慶尚大学校	韓国	GPA3.0以上	韓国語研修、韓国語および英語による一般授業履修	http://nongae.gsnu.ac.kr/%7Egyomu/kookje_eng/index.html	免除	
6	木浦大学校	韓国		韓国語研修、韓国語による一般授業履修	http://www.mokpo.ac.kr/	免除	
7	梨花女子大学校	韓国		韓国語研修、韓国語および英語による一般授業履修	http://ieiewha.ac.kr/	免除	女子大だが男子も可
8	漢陽大学校	韓国		韓国語研修、韓国語および英語による一般授業履修	http://www.hanyang.ac.kr/english/	免除	
9	華中科技大学	中国		中国語研修または一般授業履修		免除	
10	吉林大学	中国		中国語研修または一般授業履修	http://oic.jlu.edu.cn/oic/lxjd/lxjd_rxzs.php	免除	
11	上海交通大学	中国		中国語研修または一般授業履修	http://www.sjtu.edu.cn/english/admission/international/	免除	
12	西安交通大学	中国		中国語研修または一般授業履修	http://www.xjtu.edu.cn/en/admissions/	免除	確認中
13	清華大学	中国		中国語研修または一般授業履修	http://www.tsinghua.edu.cn/docsn/wb/lxs/eks.htm	免除	21世紀発展研究院とGSIDの間でのみ授業料不徴収
14	浙江大学	中国		中国語研修または一般授業履修	http://www.zju.edu.cn/english/admissions/oversea/index.htm	免除	
15	同済大学	中国		中国語研修または一般授業履修	http://www.tongji.edu.cn/~istju/	免除	
16	南京大学	中国		中国語研修または一般授業履修	http://www.nju.edu.cn/cps/site/NJU/hwxy/ChineseVersion/abroad.htm	免除	

17	復旦大学	中国		中国語研修または一般 授業履修	http://www.fudan.edu.cn/englishnew/ about/liuban.html	免除	
18	東北大学	中国		中国語研修または一般 授業履修	http://www.neu.edu.cn/	免除	
19	北京大学	中国	45歳以下	中国語研修または一般 授業履修	http://www.oir.pku.edu.cn/newoir/ studentab/studentab.asp	授業料必要(詳 しくはHP参 照)	
20	哈爾濱工業大学	中国				免除	募集なし
21	中国科学技術大学	中国				免除	募集なし
22	ラオス国立大学	ラオス		一般授業履修等	http://www.nuol.edu.la/nuolstart. jsp?id=1&lc=en	免除	
23	シドニー大学	オーストラリア	GPA3.0, TOEFL233 (essay4.5) /575	一般授業履修	http://www.usyd.edu.au/fstudent/ studyabroad/index.shtml	免除	
24	アデレード大学	オーストラリア	TOEFL213/550 (未確認)	一般授業履修	http://www.internationaladelaide.edu. au/future/abroad/	免除	都市工学関連分野専攻大学 院生については奨学金の可 能性あり
25	フリンダース大学	オーストラリア	TOEFL213/550	一般授業履修	http://www.flinders.edu.au/ international/students/index.html	免除	都市工学関連分野専攻大学 院生については奨学金の可 能性あり
26	南オーストラリア大 学	オーストラリア	TOEFL213/550	一般授業履修	http://www.unisa.edu.au/internat/ sase/default.asp	免除	都市工学関連分野専攻大学 院生については奨学金の可 能性あり
27	モナシユ大学	オーストラリア	TOEFL213/550 (TWE5.0)	一般授業履修	http://www.monash.edu/ international/prospectivestudents/	授業料必要(詳 しくはHP参 照)	
28	イリノイ大学アーバ ナ・シャンペーン校	アメリカ	TOEFL213/550	一般授業履修	http://www.uiuc.edu/	免除	
29	オバリーン大学	アメリカ	TOEFL250/600	一般授業履修	http://www.oberlin.edu/	授業料必要(詳 しくはHP参 照)	
30	シンシナティ大学	アメリカ	TOEFL213/550	一般授業履修	http://www.uc.edu/	免除	
31	セント・オラフ大学	アメリカ	TOEFL213/550	一般授業履修	http://www.stolaf.edu/admissions/ international/index.html	免除	
32	ニューヨーク大学	アメリカ	TOEFL250/600	一般授業履修	http://www.nyu.edu/global/ international.html	免除	
33	ノースカロライナ州 立大学	アメリカ	学部生: TOEFL200大学院生: TOEFL213	一般授業履修	http://www.ncsu.edu/studyabroad/ intl/index.html	免除	
34	南イリノイ大学カー ボンデール校	アメリカ	TOEFL200	一般授業履修	http://www.siu.edu/%7Eintldev/ intlappgd.html	免除	

35	ブラジリア連邦大学	ブラジル	基礎的なポルトガル語または英語能力	ポルトガル語研修、一般授業履修	http://www.unb.br/portal/	免除	免除	
36	コペンハーゲン大学	デンマーク	TOEFL213/550, 3年次以上, デンマーク語?	一般授業履修 (英語およびデンマーク語)	http://www.ku.dk/default2_uk.asp?src=http://www.ku.dk/sa/inter/exquest/gueststudj.html	授業料不徴収 協定はないが, 授業料無料	確認中	
37	ウォリック大学	イギリス	TOEFL260/620, 法学部3年次以上	一般授業履修	http://www2.warwick.ac.uk/	免除	JYA (学部3年次以上) 有料	
38	シェフィールド大学	イギリス	学部学生, GPA 3.0以上, TOEFL213/550 (受入れ学部によって異なる。HP参照 http://www.shef.ac.uk/international/sa/englishrequirements.htm)	一般授業履修	http://www.shef.ac.uk/international/sa/	免除		
39	ブリストル大学	イギリス	TOEFL250/600 (ただし7月から9月にSABLEを履修する場合は173/500)	一般授業履修	http://www.bris.ac.uk/international/studyabroad/	免除	STABLE (7-8月) 有料	
40	ケムニッツ工科大学	ドイツ	中級以上のドイツ語能力, 英語能力	ドイツ語および英語による一般授業履修	http://www.tu-chemnitz.de/international/nach-chemnitz/index.php	免除	有料のドイツ語コースあり	
41	ブラウンシュバイク工科大学	ドイツ	2年次以上 (多くは3年次以上), 中級以上のドイツ語能力, 英語能力	一般授業履修	http://www.tu-braunschweig.de/international/exchange	授業料不徴収 協定はないが, 授業料無料	ドイツ語コースあり	
42	ミュンヘン工科大学	ドイツ	中級以上のドイツ語能力, 英語能力	一般授業履修	http://www.tum.de/jshpchooser.tupl	授業料不徴収 協定はないが, 授業料無料		
43	フライブルク大学	ドイツ	中級以上のドイツ語能力, 英語能力	一般授業履修	http://www.io.uni-freiburg.de/	免除	事前有料ドイツ語コースあり	
44	ルイ・パスツール大学 (ストラスブール第1)	フランス	フランス語能力, 英語能力	一般授業履修	http://www-ulp.u-strasbg.fr/	免除		
45	ボンゼリョセ工科大学	フランス	フランス語能力, 英語能力	一般授業履修	http://www.enpc.fr/	免除		
46	グルノーブルコンソーシアム	フランス	3年以上の学部生, フランス語中級以上	フランス語および英語による授業履修 (GUEST)	http://www.grenoble-universites.fr/guest/	免除		
47	ストラスブールコンソーシアム	フランス	3年次以上の学部生, フランス語中級以上	フランス語および英語による授業履修 (SUSAP)		免除		
48	東南アジア地域農業教育研究センター (主にフィリピン大学ロス・バニョス校)	フィリピン	英語能力, 大学院生	一般授業履修等	http://web.searca.org/home.asp	約10,000ペソ	確認中	

平成19年度 全学間協定による交換留学 2次募集対象校及び新規募集校リスト (12/20/2006)

大学名	国名	応募条件	履修形態	大学／プログラム情報等	備考
1 本浦大学校	韓国	韓国語能力	韓国語研修, 韓国語による一般授業履修	http://www.mokpo.ac.kr/	
2 梨花女子大学校	韓国		韓国語研修, 韓国語及び英語による一般授業履修	http://ieiwha.ac.kr/	女子大だが男子も可。
3 東北大学	中国		中国語研修または一般授業履修	http://www.neu.edu.cn/	
4 吉林大学	中国		中国語研修または一般授業履修	http://oic.jlu.edu.cn/oic/lxjd/lxjd_rxzs.php	
5 南京大学	中国		中国語研修または一般授業履修	http://www.nju.edu.cn/cps/site/NJU/hwxy/ChineseVersion/abroad.htm	
6 アデレード大学	オーストラリア	TOEFL213 (TWE 4.0) (法学専攻の場合は250/5.0)	一般授業履修	http://www.internationaladelaide.edu.au/future/abroad/	都市工学関連分野専攻大学院生については奨学金の可能性あり
7 フリンダース大学	オーストラリア	学部生 TOEFL213 (TWE 4.5), 大学院生230/4.5	一般授業履修	http://www.flinders.edu.au/international/students/index.html	都市工学関連分野専攻大学院生については奨学金の可能性あり
8 南オーストラリア大学	オーストラリア	TOEFL213	一般授業履修	http://www.unisa.edu.au/international/default.asp	都市工学関連分野専攻大学院生については奨学金の可能性あり
9 オーストラリア国立大学	オーストラリア	TOEFL230 (TWE 4.5) (法学専攻の場合は250/5.0)	一般授業履修	http://info.anu.edu.au/studyat/International_Office/index.asp	
10 セント・オラフ大学	アメリカ	TOEFL213	一般授業履修	http://www.stolaf.edu/admissions/international/index.html	
11 ウォリック大学	イギリス	TOEFL260 (専攻によって異なる)	一般授業履修	http://www2.warwick.ac.uk/	4月開始の有料 JYA (学部3年次以上) あり (http://www2.warwick.ac.uk/services/international/abroad/japiya/)
12 ケムニッツ工科大学	ドイツ	中級以上のドイツ語能力, 英語能力	ドイツ語および英語による一般授業履修	http://www.tu-chemnitz.de/international/nach-chemnitz/index.php	有料のドイツ語コースあり (http://www.tu-chemnitz.de/international/nach-chemnitz/vor-abreise/dsh_en.php)
13 ブラウンシュバイク工科大学	ドイツ	2年次以上(多くは3年次以上), 中級以上のドイツ語能力, 英語能力	一般授業履修	http://www.tu-braunschweig.de/international/exchange	ドイツ語補習コースあり

新規協定校

14	ヨーク大学	カナダ	TOEFL220 (院生の場合は選考によって異なる)	一般授業履修	http://international.yorku.ca/exchange/incoming/incoming.htm	大学院生の応募不可 (今年度のみ)
15	トロント大学	アメリカ	TOEFL250 (TWE50)	一般授業履修	http://www.utoronto.ca/student.exchange/incoming.html	大学院生の場合は申請前に海外留学室まで連絡してください。
16	ミネソタ大学	アメリカ	TOEFL213, GPA3.0以上	一般授業履修	http://www1.umn.edu/twincities/index.php	希望者は申請前に海外留学室まで連絡してください。

* それぞれの協定校の詳細情報については、必ず協定校HPで最新の情報を確認してください。渡航期間は1学期間または1年間です。

* 今回の募集は、JASSOによる短期留学推進制度による奨学金の対象とはなりませんので注意してください。

* 応募条件に記載されているTOEFLのスコアは、CBTまたはPBTのスコアを提出する場合は、換算表で確認してください。